

山行報告書

作成:2007年1月7日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	経ヶ岳(1625m)	目的[方法]	新雪の白山展望
期間	2007年1月4日(木)~6日(土)	形態	2泊3日(テント、山小屋泊)
参加人数	3人		

行動記録:

1/4(木) 曇りのち晴れ

岩津市民 C (5:03) = 0:08 = 豊田東 IC(5:11) = 1:03 = 長良川 SA(6:14, 6:42) = 0:03 = 美濃 IC(6:45, 6:47) [¥1,250 (通勤割引)] = 0:44 = 白鳥 IC(7:31) [¥650(通勤割引)] = 0:31 = 道の駅九頭竜(8:02, 8:08) = 0:42 = 勝山 FM(8:50, 9:00) = 0:15 = 法恩寺山有料道路料金所(9:15)[¥1,300] = 0:05 = スキージャム勝山 P(9:20) (入山報告、リスト券購入 [¥800]、他) - パラエティクワッド下(10:40) + 0:10 + パラエティクワッド上(10:50, 11:10) - 1:05 - イルージョンクワッド下(12:15, 12:40) - 1:46 - イルージョンクワッド上(14:26, 14:43) - 0:32 - 伏拝(15:15, 15:25) - 0:25 - 1290m 地点 TS1(15:50)

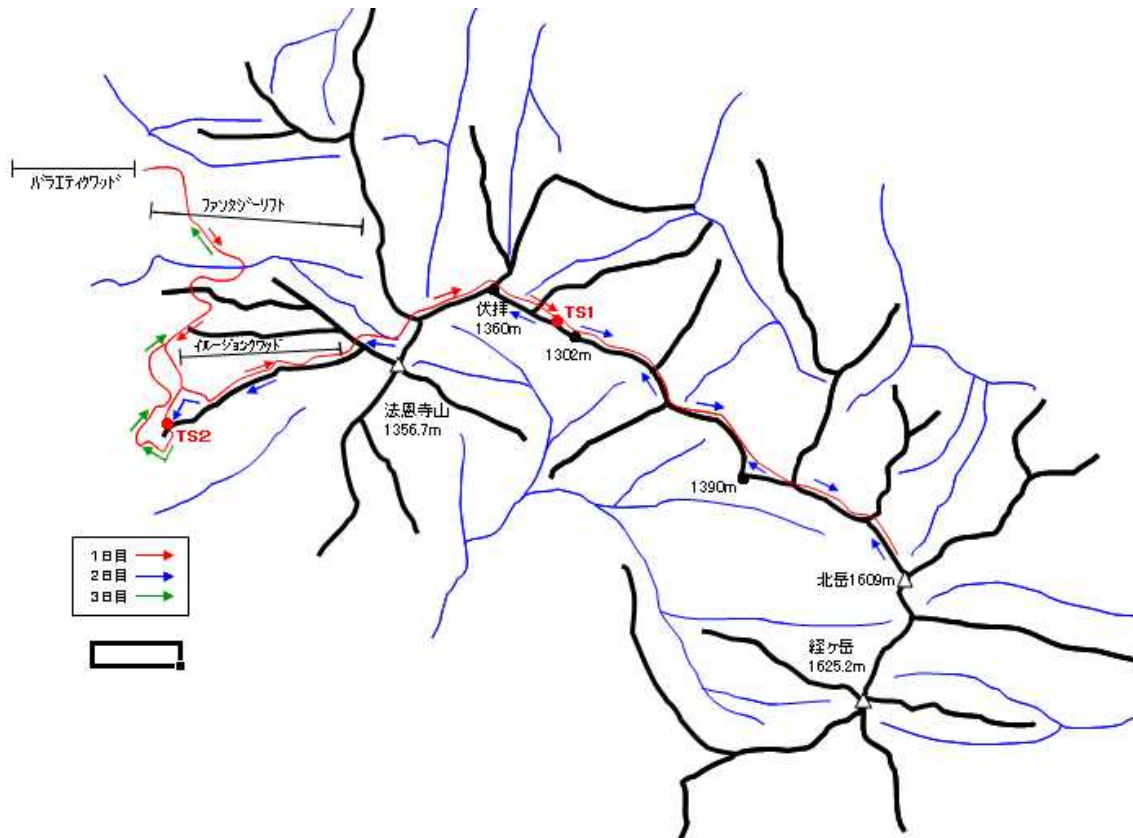
1/5(金) 快晴 4

TS1(6:45) - 0:23 - 1,302m(7:08, 7:22) - 0:32 - 1,390m 手前(7:54, 8:15) - 0:52 - 1,440m(9:07, 9:24) - 1:06 - 1,559m 北岳手前(-2) (10:30, 11:25) - 0:53 - 1,390m(12:18) - 0:42 - 1,280m(13:00) - 0:52 - TS1、撤収(13:52, 14:50) - 0:34 - 伏拝(15:24, 15:38) - 0:25 - イルージョンクワッド上(16:03) - 0:33 - 962m 周辺(16:36) - 0:10 - 中の平小屋 TS2(1646)

1/6(土) 雨 4

TS2(9:30) - 1:38 - パラエティクワッド上(11:08, 11:15) + 0:10 + パラエティクワッド下、下山報告(11:25) - 0:10 - スキージャム勝山 P(11:35, 11:55) = 0:16 = 勝山温泉「水芭蕉」(12:11, 13:25)[¥500] = 0:13 = 福そば(13:38, 14:40) = 1:16 = 白鳥 IC(15:56) = 0:49 = 美濃加茂 SA(16:45, 17:13) = 0:44 = 豊田東 IC(17:57)[¥3,400] = 0:08 = N.I.宅(18:05, 18:10) = 0:20 = 岩津市民 C(18:30)

概念図:



日誌:

ほぼ予定通りに岩津市民センターを出発し暫くは順調であったが、美濃からは関西方面からのスキー客のために高速が渋滞、予定より20分近く遅れて白鳥 IC に到着する。白鳥 IC を過ぎると渋滞が嘘の様に解消。スキージャム勝山まではスムーズなドライブとなる。

9:20 にスキー場の駐車場に到着。準備をしてスキーパトロールに入山報告し、610m からパラエティクワッドで960m 地点まで上がる。数日前に雪が降った後は、好天続きのためかゲレンデには思ったほど雪がなく、所々草や土が見える箇所もある。ワカンを装着し、ファンタジーリフト下あたりから林道に入る。イルージョンクワッド下までは平らな道だが、ここから先はゲレンデを登って行く。天気が良く、歩くと汗がドットと噴出す。坂を上る時の歩幅やペースを H さんや M さんからご指導いただきな

日誌(続き):

がら、一步一步ゆっくりと、およそ 1300m の高さまで上っていく。上に到着すると、お天気の良いため大変見晴らしが良く、疲れもいっぺんに吹き飛ばす。写真撮影などを済ませ、次は伏拝を目指す。ここからは真っ白な雪に覆われて輝く美しい白山を見ることが出来、とても満足。伏拝を出発した時点で予定より 1 時間半近く遅れているため、本日のテン場である 1302m 地点まで急ぐが、時間も遅くなってきたため目標地点の手前、1290m 地点でテントを張ることになった。夕食は、お正月スペシャルということで、数の子などのおつまみの後、メインは常夜なべ。ホウレン草と豚肉のシンプルな味がとても美味しい。最後にラーメンでスープを残らず平らげ、栗饅頭とコーヒーで締めくくる。

翌朝は 4 時起床の筈であったが、寝坊して 4:40 起床。朝食を摂り、予定より 1 時間半以上遅れて、明るくなり始めた 6:45 に出発。今回は個人的な目的として読図をしっかり学びたかったため、コンパスと地図の使い方をご指導いただき、途中から先頭を歩かせていただいた。これまでは新人ということもあり「前の人に着いて歩く」だけで良かったのが、自分が先頭に立つとなるとなかなか難しく戸惑った。HさんとMさんから、ラッセルの仕方などを教わりながら歩いていく。今回は雪も少なく歩き易い。北東には、快晴のため美しい白山や別山がくっきりと見える。10:30 に北岳手前の 1559m 地点に到着。計画では、この後北岳と経ヶ岳に上る筈であったが、今回は 1559m 地点から二つの山の眺めを楽しむことにした。北岳は道標の直ぐ前 20~30m が急勾配になっており、尾根も狭く、雪山初心者など全く寄せ付けない様子。「来年は登れるといいな」と思いながら M さんにご用意いただいた温かい甘酒をいただく。北岳と経ヶ岳の頂を踏むことは出来なかったが、今回は本当にお天気に恵まれ、360 度どこを見ても眺めが素晴らしくて、白山、別山は勿論、御嶽山もくっきりと見えた。美しい景色を目にしっかりと焼き付けた後、11:25 下山開始。HさんとMさんは、私が途中で地図を見ずにコンパスの指す方向だけを見て歩き続け、尾根から外れてしまったことを自分で気づくまで、黙ってじっと着いてきて下さった。途中でミスに気づき、尾根に戻って無事 TS1 着。テントを撤収し、中の平小屋に向けて出発。伏拝でプローブを使って積雪量を測ると、125cm。今年は本当に雪が少ないとのこと。最後にもう一度白山を眺めた後、ゲレンデを下り 16:46 に小屋に到着。2 階建てのなかなか素敵な小屋で、トイレも中であって快適。他に登山客は無く、我々のパーティーで貸切状態だった。夕食はストーブを囲んでのお正月スペシャル第二弾。メニューは焼き鳥、焼きおにぎり、カレー、そして締めくくりは・・・なんとお抹茶と和菓子！Mさんが、わざわざ茶筌とご自身の作品である楽焼の美しいお茶碗も持参され、お茶を点てて下さったことには感激！軽量化のお手本のような小さめのザックの中から、まるで手品のようにお茶の道具などが出てくるのにはつくづく感心してしまった。

6 日朝は 6:00 起床。お雑煮を食べた後で、1 時間ほどパッキングについて指導していただき大変参考になった。小屋の掃除を済ませ、昨日とは打って変わって雨の中を 9:30 に小屋出発。林道を歩きながら夏の登山道などを教えていただく。駐車場に着く頃には結構な雨が降っており、荷物を積んだり合羽や靴を脱ぐのに一苦労。11:55 にスキージャン駐車場を出て、勝山温泉「水芭蕉」に向かう。温泉で汗を流しさっぱりした後、本日のハイライト「福そば」へ。外は雨が上がり、今朝の雨が嘘のようだ。福そばでは、地元大野市で採れた蕎麦を使った田舎風蕎麦を賞味する。歯ごたえもあり、なかなかのお味。昼食後は車に乗り込み、車窓から端正な荒島岳の姿を楽しみながら一路帰途へ。2007 年の初山行に相応しい、大満足の 3 日間だった。

感想:

2007 年最初の山行は、個人的には大日ヶ岳雪訓後初の雪山登山であったために、とても心待ちにしていた。最初の 2 日間は幸いお天気にも恵まれ、今回の山行の目的であった新雪の白山展望を十分に満喫できた。他に登山客はなく、山と小屋は貸切り状態。こんな良い所にどうして誰も来ないのだろうか？と不思議でたまらない。

今回はパーティーとしての目的の他に、個人的な目標であった読図と概念図の書き方を HさんとMさんにご指導いただいただけではなく、雪山での歩行やパッキングなどについても学ぶことが出来、大変充実した山行となった。ミスをして本人が気付くまで黙って後を着いて来て下さったお二人に感謝します。どうもありがとうございました。今後ともご指導、宜しくお願い致します。また、年末年始のお忙しい時期に、お正月ということで特別の食事を用意して下さった M さん、ありがとうございました。そして最後に、楽しい山行を計画して下さった H さん、お疲れ様でした。今年も沢山の山に登れますように！